



# いかまほし 2024年度

穂高西小学校だより

No.5

R6. 11. 14

校長 熊井 恵子



～大きな行事に取り組む中で～



2学期半分が過ぎ、後半に入ってきました。

運動会・音楽会という大きな行事を乗り越え、子どもたちの成長した姿を見ることができました。ご家族のみなさまには、日々、ご支援をいただき心より感謝申し上げます。

現在、教育現場においては、先生の指示取りに取り組むことだけでなく、自分たちは「どう取り組みたいか」「どんな姿を

目指したいのか」を共に考える時間を大事に指導が行われています。「できばえ(結果)」だけでなく「学びの道筋(過程)」も大切に考えています。運動会・音楽会においても、練習の様子を撮影し見返しながら、課題を見つけたり高まりを実感したりする学年がありました。また、行事を通して友だちのよさに気づき認め合う姿もあり、そういった子どもたちの姿を嬉しく思いました。



## 【米作りへの思い ～ 全校で植えたから… 刈ったから… ～】

11月8日(金)に、5年生が餅つき(収穫祭)をしました。収穫祭を計画する中で、5年生の子どもたちから「全校のみなさんに食べてもらいたい」という願いが、校長のもとによせられました。5年生がプロジェクトリーダーとして「田植え集会」「稲刈り集会」を行い、ボランティアの方々と汗だくになって関わってきた米作りです。全校に配るのは大変とわかっていながら、「みんなで植えて、みんなで稲刈りしたもち米だから、全校のみんなに味わってもらいたい」と願いを持った5年生。全校で関わったことの価値を味わい、自分たちがやり遂げたんだという自信を持つことができた活動であったと感じました。温かくご支援くださったボランティアの方々と様々な準備にご協力いただいたご家庭のみなさま本当にありがとうございました。



## 【校長講話(11月8日) ～思いやりの心～】

2学期の始業式に「2学期のあいいうえお」の話をしました。「あ」は「あいさつ」でしたね。これからはがんばっていきましょう。「い」は「いのちを守る」でした。このごろ朝が寒くなってから、霧が深くなって車からみなさんの姿が見えにくくなったり、皆さんも寒くて周りをしっかりと見ることができにくくなったりしています。登下校の安全には気をつけましょう。「う」は「運動会」、「え」は「演奏」。運動会も音楽会も大成功でした。感動をありがとうございました。

さて、今日は残りの一つ、「おもいやり」についてお話をします。

皆さんドラえもんは知っていますか?ドラえもんは、何をしてもさえない少年「のび太くん」の不幸な将来を変えるために、のび太くんの孫の、そのまた孫のセワシくんが未来から送った猫型ロボットです。では、セワシくんが心配している「のび太くん」って、どんな人なのでしょう。みなさんもよく知っていると思いますが、まずは、あまりよくないところや困ったところをあげてみましょう。

1. 勉強や運動が苦手…テストで0点をとって先生やママに怒られたり、野球でエラーをしてジャイアンに怒鳴られたりしていますよね。
2. 怖がり泣き虫…のび太くんが泣いている場面はよくできますよね。
3. 怠け者で面倒くさがり…宿題はほぼやらないし、トイレに行くのも面倒だと思っています。

4. 困ったことがあると、すぐにドラえもんを頼る…自分の力で解決しようとしなくて、すぐにドラえもん泣きついて便利な道具はないかと頼ります。

こんなダメダメなのび太くんのような人が自分のクラスにいたら、校長先生だったらニコニコと仲良くするのは難しいかもしれません。イライラしてしまうかもしれません。でも不思議なことに、のび太くんにはたくさんの仲間や友だちがいます。ジャイアンやスネ夫は意地悪を言ったりしたりすることも多いですが、実はのび太くんのことを「心の友」だと思っていますよね。どうしてなのでしょう。

では今度は、のび太くんのいいところをあげてみましょう。

1. 穏やかで優しい…意地悪なジャイアンやスネ夫を懲らしめることはありますが、自分から人をいじめたり泣かせたりすることはありません。
2. 想像力や発想が豊か…ドラえもんの道具を工夫して上手に使いこなしています。
3. 動物や自然を大切に思う気持ちが強い…いろいろな生き物から好かれることが多いですね。
4. 正義感が強い…臆病だけれど、誰かを助けるために勇気を出すことができます。
5. あきらめない心を持っている…守らなければならないものがあると、絶対にあきらめない強さを発揮します。
6. 自分が悪いことは素直に謝ることができる…作者の藤子・F・不二雄先生も「のび太は、ちゃんと反省して謝れるんです。そして、いつまでもいつまでも今より良い人間になろうと努力するんです。」と言っています。

それから、「横になったら1秒以内に眠れる」とか「あやとり」や「射撃」など、得意なこともいくつかあります。こうやって見ていくと、のび太くんはダメなところや情けないところはあるけれど、いいところの方がたくさんあることがわかります。そして、そのどれにも共通しているのが「おもいやり」です。のび太くんの「人やものをおもいやる心」が、きっと周りの人たちをひきつけ、心地よくさせてくれるのだと思います。

「のび太の結婚前夜」というマンガの中に、とても心に残る言葉があったので紹介します。

のび太くんは大人になってから、大好きなしずかちゃんと結婚することになるのですが、本当に結婚できるか心配になり、ドラえもんと一緒にタイムマシンに乗って未来の結婚式を見に行きます。ところが、二人が着いたのは結婚式の前日のしずかちゃんの家でした。見つからないように透明マントをかぶって家の中をのぞくと、しずかちゃんがお父さんと話をしていました。

「パパ、私、お嫁に行くのやめる。」

しずかちゃんは、お父さんとお母さんに何も親孝行をしてあげられなかった後悔と、のび太さんとうまくやっていけるかという不安でいっぱいになったようです。それを聞いたお父さんは、しずかちゃんが生まれてきてからのこと、たくさんの思い出を振り返りながら優しく語りかけます。そして最後にのび太くんのことについて、こう話しました。「あの青年は、人の幸せを願い、人の不幸を悲しむことができる人だ。それが一番、人間にとって大事なことなんだからね。彼なら間違いなく君を幸せにしてくれると信じているよ。」と。

私は、しずかちゃんのお父さんがいった言葉がとても心に残りました。「人の幸せを願い、人の不幸を悲しむことができる」つまり、「人に対するおもいやりの心を持つ」これが人間にとって一番大事なことなのだと思います。みなさんも、ぜひ「おもいやりの心」を持った人になってほしいと思います。「おもいやりの心」は、見えません。だから、言葉で表しましょう。それは「相手を大切にする言葉」を使うということです。

みなさんの周りにいる人が、みなさんの言葉で励まされたり元気が出たりホッとする気持ちになったりできる、そんな穂高西小学校になってほしいと心から願います。

12月には、「なかよし旬間」があります。子どもたちには、「友だちやお家の人、先生を大切に  
する言葉を使えたか、12月の校長講話でみんなに聞くからね。」と伝えました。今回の校長  
講話で、子どもたちにとっては、「ありがとう」という言葉が「相手を大切に  
する言葉」として認識が強いようだと感じました。ご家庭でも「ありがとう」が言えたら、ほめてあげてください。